

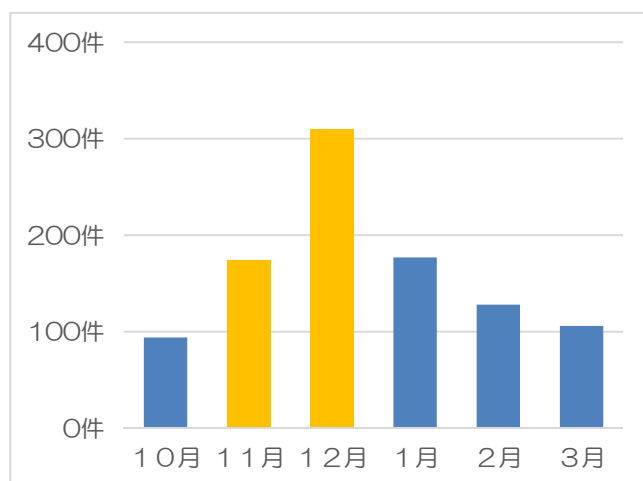
●11～12月は事故が多発！

例年、10月下旬の初雪から冬が深まる12月下旬にかけては、冬道運転の感覚が戻らずに夏の感覚で運転しがち。このため、11月から12月にかけて交通事故が増加します。冬道の運転に慣れるまで、スピードダウンし車間距離をとって、ゆとりのある運転をしましょう。

右図【北海道内高速道路上の事故件数】

(平成28年10月～平成29年3月)

(NEXCO東日本調べ)



●シーズン初めの降雪日

今年はすでに旭川・札幌・帯広で初雪が観測されました。本格的に雪が積もり出す前の早めの冬装備の準備をお願いいたします。

右図【北海道の雪の初日の観測状況】

(気象庁札幌管区气象台調べ)

観測官署	初雪日		
	平年	昨年(H28)	本年(H29)
旭川	10月23日	10月20日	10月17日
札幌	10月28日	10月20日	10月23日
帯広	11月7日	10月24日	10月23日
室蘭	11月1日	10月24日	11月11日
函館	11月3日	10月30日	11月13日

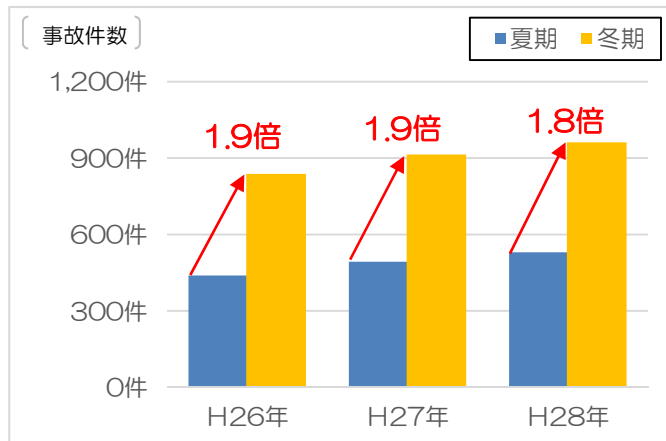
●冬の事故件数は夏の約1.8倍！

北海道では冬期(11月～翌4月)の高速道路での事故件数が、夏期(5月～10月)の事故件数の約1.8倍に上ります。冬道運転はより一層の注意を払った運転を心がけましょう。

右図【北海道内高速道路上の季節別事故件数】

(平成26年5月～平成29年4月)

(NEXCO東日本調べ)



●滑りやすさはこんなに違う！

雪道は道路(路面)自体が滑りやすくなります。早めの冬タイヤへの交換などの装備と、冬道に適した運転操作をお願いいたします。

右図【路面状況による停止距離への影響】

((一社)日本自動車タイヤ協会調べ)

<http://www.jatma.or.jp/winterdrive/>

